

さまざまな生き物の目覚めと成長を促す春の柔らかな日差し。花冷えがつづき開花が遅れていた桜の花が、この日に合わせたかのようにあちらこちらで咲き誇り始め、令和七年度の入学式を迎えることができました。

ご来賓の皆様。新たに一二九名の子どもたちを迎え、学校として新たなスタートをきるこの晴れやかな日に、皆様にご列席いただけること、篤く感謝とお礼を申しあげます。皆様の温かなご理解とご支援あつての淀中学校です。令和七年度も、変わらず温かく学校を支えていただけますと幸いです。

新入生のみなさん。淀中学校への入学おめでとございます。大和田小学校、川北小学校、出来島小学校。主に三つの小学校から仲間が集まりました。学校選択や転入でそれ以外の小学校から入学する仲間もいます。小学校で六年間を共にすごした人だけではなく、新しい出会いがたくさんある四月です。小学校にはなかったことがたくさんあります。教科ごとに先生が変わる授業。毎日の部活動。そして何よりも、急に心も体も大人びていく思春期と言われる成長の時期。

そんな新しいことではいっぱいの中学校生活。楽しく有意義な毎日にしてほしいです。そのために何よりも大切なのは、みなさんの気持ちです。素直で前向きな気持ち。楽しく有意義な中

学校生活にしたいという素直で前向きな気持ちです。そのような気持ちで日々を過ごしてほしいです。

それでは新入生のみなさんに、淀中学校への入学にあたって、これだけはぜひお願いしたいと校長先生が思うことを伝えさせてください。通常、あまり式辞では話さないことだと思いますが、シンプルで強い願いです。それは、毎日の教科の授業を最優先に頑張ってほしいという願いです。以下、少し詳しく話をします。

授業、行事、部活動、友だちと過ごす時間、先生との相談の間など、学校生活にはさまざまな時間があります。それぞれがみなさんの成長につながる大切な時間であることにちがいはないのですが、校長先生は、その中でいちばん大切な時間は毎日の教科の授業だと強く思っています。

学校というのは人生を生きていくうえで必要なさまざまなことを広く学ぶところですが、その中でも、毎日の教科の授業は学校生活の大部分を占める活動で、まちがひなく学校生活の中心です。ここがおろそかになってしまつては、他のことも十分に学べるはずありません。

先生たちはそのように考えて毎日の教科の授業に真剣に臨みます。みなさんもそのように考えて毎日の教科の授業に真剣に

臨んでください。

授業に必要な準備を忘れず、集中して授業を受け、よくわからなかったところはその日のうちに先生に質問して解決しましょう。

みなさんの中には、勉強が得意な人ばかりではなく苦手な人もいるかと思いますが、苦手なことを面白く思えないのは無理からぬことだと思いますが、苦手であっても毎日の教科の授業を真面目に受け、どんな小さなことであっても、わからないことがわかるようになる喜びやできなかったことができるようになる喜びを感じる日々を積み重ねてほしいです。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は、お子様のご入学おめでとうございます。中学生となったお子様は、思春期の真っ只中に突入していきます。戸惑いを感じる時もあるかもしれませんが、ぜひ、変わらぬ愛情とつかず離れずほどよい距離感で、さらなるお子様の成長を見守ってください。

以上、入学式の式辞とさせていただきます。

令和七年四月三日

大阪市立淀中学校 校長 吉田健太